

[令和6年度事務事業]

I. 基本情報									
事業の位置付け									
1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
			有	取組の方向性	①相談支援体制の充実・強化				
			有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	無	現状値	—		目標値	—	
			有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
			有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			堺市こども計画、第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画					
3	事業開始年度			平成 24 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			発達障害者支援法					
事業の概要									
5	事業の実施主体			本庁					
6	事業の対象			市内在住の発達障害者児（疑い含む）、その家族、支援者、支援機関				対象数	単位
								—	—
7	事業の目的			発達障害者児への支援を総合的に行うことを目的とした専門的機関として、発達障害のある本人、家族、関係機関などからの相談を受け、発達障害者児が地域で安心して暮らせるように支援する。					
8	事業内容			相談支援、発達支援、就労支援、普及啓発及び研修事業を実施するとともに、関係機関と連携しライフステージに応じた一貫した支援及び支援機能の強化を図る。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容								
9	主な支出先			社会医療法人 杏和会					
10	公民連携・協働事業								

事業の成果や活動実績の測定							
11	定性的な成果目標						
	発達障害者児が各ライフステージを通して地域で安心して暮らせる社会						
	当該目標を設定した理由	各ライフステージでの課題等について相談・発達・就労支援、関係機関等との連携等に繋げ、また普及啓発や研修事業を通して地域の理解を深めることで、目標を達成できると考えられるため。					
	目標に対する実績	相談・発達・就労支援、普及啓発及び研修事業を実施するとともに、関係機関と連携しライフステージに応じた一貫した支援を実施した。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	延べ支援件数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	3,195	3,100	3,000	
			実績値	3,029	3,178		
			達成率	95%	103%		
当該指標を選定した理由	発達障害のある本人、家族、関係機関などからの相談を、発達支援、就労支援、関係機関との連携等に繋げることで、発達障害者児が地域で安心して暮らせるように支援することができるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市障害児福祉計画による。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	発達障害者支援センター運営事業	事業番号	011-280
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	31,015	47,626	33,215	33,215	33,256
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（地域福祉推進基金）	0	0	33,215	33,215	33,256
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	31,015	47,626	0	0	0
14	人件費（b）	1,640	1,620	1,620	1,620	1,680
15	年間経費（c）=(a)+(b)	32,655	49,246	34,835	34,835	34,936

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	発達障害者支援センター事業委託料	決算	33,215	0			決算			
		予算	33,215	0			予算			
	謝礼金	決算	0	0			決算			
		予算	41	0			予算			
		決算					決算			
		予算					予算			
		決算					決算			
		予算					予算			
		決算					決算			
		予算					予算			
		決算					決算			
		予算					予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和5年度	令和6年度
	①	延べ支援件数	件	3,029	3,178
	②	上記①にかかる年間経費	千円	49,246	34,835
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	16,258	10,961
	算出についての説明等		年間経費には消費税等及び延滞税等の納付に関する補償金を含む。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	発達障害や支援制度に関する専門的知識を有する市職員を直接雇用、または養成するには多大なコスト及び時間を要することや、欠員が発生した場合に代替職員を用意することが困難であることから、発達障害や支援制度に関する専門的知識を有する多数の専門職を有する事業者に委託することにより、安定的かつ効率的に事業運営が可能となっている。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、発達障害に関する支援の拠点として、本人、家族及び関係機関等からの相談、発達障害に関する関係機関向けの研修、市民向けの啓発活動等を実施しており、相談支援体制の充実・強化の取組として、寄与している。
----	---